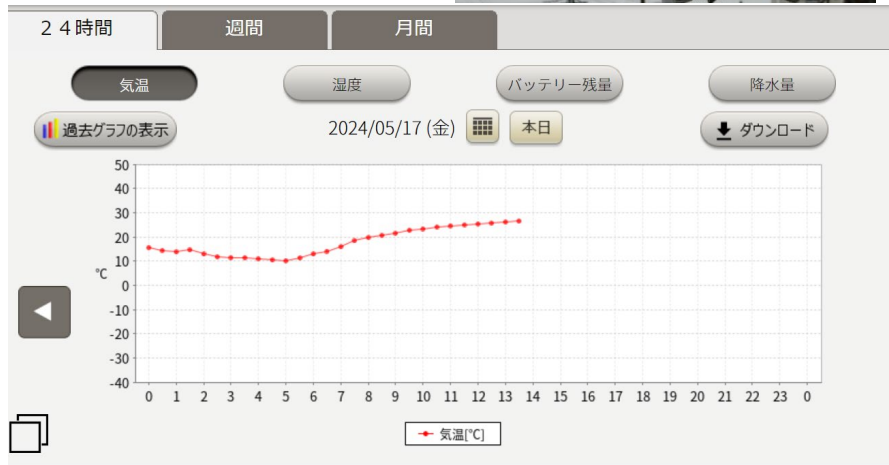


導入主体の概要

- ・所在地：山梨県甲府市
- ・管理主体：甲府市ジベ処理委員会
(構成員：甲府市、JA山梨みらい、中北農務事務所 他)
- ・栽培作物・作付面積：ブドウ「デラウェア」 14.3ha
- ・生産者数：120名（令和6年5月現在）

導入技術

- ・通信装置
(ZL6 データロガー)
 - ・温湿度計・雨量計
(ATMOS-14)
 - ・クラウド
(ZENTRA Cloud)
- ※全て(株)メータージャパン製



ZENTRA Cloudによる気温のグラフ

導入経緯

- 甲府市ではデラウェアの栽培が盛んであり、特にジベレリン処理による無核化を全国に先駆けて導入した地域である。
- 無核化のためのジベレリン処理の適期と再処理の判断には気温、湿度、雨量などの把握が必要であり、以前から観測を行っていた。
- 従来の装置はアナログ式のため、気温・湿度・雨量の把握には毎日複数地点の巡回が必要であった。
- そこで、観測値把握の労力を削減するために、令和4年度に遠隔で気象状況の確認ができるICT気象観測装置を導入した。

取組の特徴・効果

- 従来の観測装置では、毎日半日程度かけて装置を巡回し、気温・湿度・雨量の観測値を確認していたが、ICT観測装置の導入によって、現地を巡回せずに全観測地点(6カ所)の観測値が確認できるようになり、労力の大幅な削減につながった。
- リアルタイムで観測値を確認できるようになり、ゲリラ豪雨などの異常気象の発生を即座に把握できるとともに、24時間365日の観測値をデータとして蓄積できるようになった。
- 今後は、蓄積した観測データを活用し、病害虫の発生予測や気象変動対策等に役立ていきたい。